

ヒトデの早業

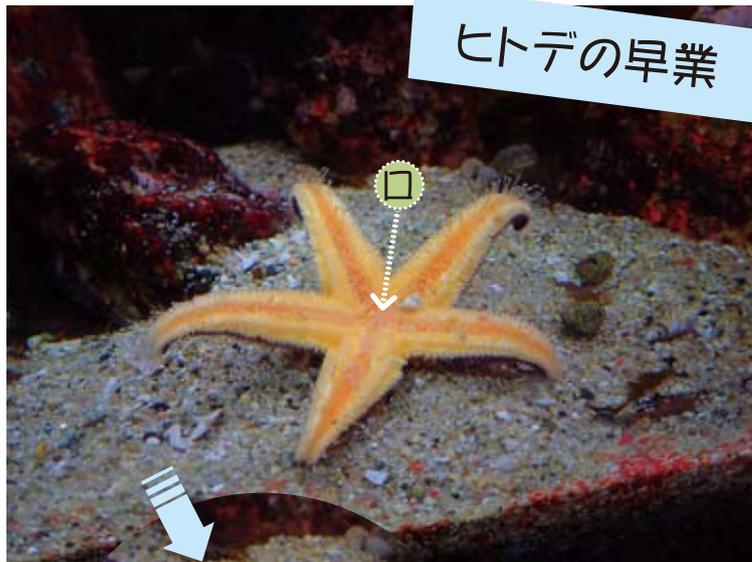


写真1

今回はちょっと水槽のヒトデにいたずらをしてみました。いつもは水槽の壁や岩にはりついているマヒトデをはがして砂の上にひっくり返して置いてみました（写真1）。

ヒトデの口は矢印の位置にあり、普段は見えません。また、口側にはたくさんの小さな管足とよばれる移動用の足がついています。

さて、その後どうなったのか、その様子は、連続写真を見て下さい。完全にもとに戻るまで約2分の早業でした。マヒトデの体をおおっているのは小さな骨片で、骨片同士がすきまを開けてつながっていますので、このような柔軟な動きができるのでしょうか。また、管足の動きや管足の先についた吸盤の力かけんをうまくコントロールしていると思われ、すごいな一の一です。

